

### 総会ウォーク

内弁慶 泰

毎年総会ウォークには参加しているが、昨今年老いたせいか将又かまけによるものか、他のウォークの参加回数が年々減ってきた。今年  
は多くの歩けに参加するぞと誓ったものの、どうなる事やら先々が思  
い悩む。今日の参加も、昨年来長い距離歩いていないので少し不安が  
頭の片隅を過った。当日は朝7時半頃家を出た。大寒の為か厳しい  
寒さの中久しぶりの歩け、ウォーミングアップのつもりで富士宮駅に  
向う足は軽やかだ。駅のコンコースにはすでに多くの方が集まってい  
た。電車で富士川駅へ、駅前広場で準備体操後役員の方の点呼、11  
0何名かの参加のような。空は雲一つない快晴、少しの寒さを感じる  
がウォーキング日和。車の通りの少ない、人家が建ち並ぶ緩やかな坂  
道をダラダラと登る。途中、目の前を紙飛行機が飛んでいるかの様に  
フワフワと鳶が通り過ぎ西の方角に飛んでいった。朝食のえさでも探  
していたのか、上昇気流に乗り後れたのだろうか。行く先々の人家の  
草木もこの寒さで肩を窄めて春を待ち焦がれているようだ。左手に富  
士川第一小学校をみて街並みを北上し、栄光寺手前を左手に折れ富士  
川楽座で休憩。眼下に富士川のゆったりした流れを見ながら木島地区  
に、木島地区を過ぎると人家がとだえこより道が少し狭くなりみの  
ぶ道の面影あり。ここで一服、会の計らいで蜜柑が配られる。有難や  
有難や。有耶無耶しく両手をかざしたが一人一個づつとのこと。納得、  
早速に賞味す。冷たく程好く甘味も有り美味しく頂いた。ここからの  
富士山の眺めは澄みきった穏やかな天候の為かすばらしい所だ。一服  
した所を出発。なだらかな登り坂を道の両側に蜜柑畑、キュウイ畑が  
点在する中を歩く。灌木や杉檜の植林地を右に左に見ながらゆるやか  
な坂道を登って行く。木々が生い茂り道もうす暗くなる。途中道端に  
身延旨での行き交う旅人の無事を祈ったのか石仏が迎えてくれる。今  
ではこの道を利用する人も少ないらしく、落葉が積もって歩くのには  
程好くなっている。馬坂峠展望台を目指す。展望台手前の急な階段を  
登るのには閉口してしまった。登り終えた所で昨年からの運動不足が  
祟ったのか両足に痛みを感じ、展望台に登るのは諦めた。展望台から  
の富士山の絶景を見ることが出来ず残念。ここからは下り坂、舗装道  
で杉の枝葉が落葉して積もり歩き良い。足に負担をかけぬようのんび  
りと下ると、平坦な旧道に出て北上し、その街並みが続く先、町づく  
りセンターで休憩。右に富士山を見ながら一本道を行く。左右に田畑  
が沢山見られる。点在する民家の間を通り過ぎ、有無瀬川を渡るとや  
がて広い道路を横切った先は蓬萊橋だ。橋の中程で皆立ち止まって欄  
干に両肘を添えて川の流れを見つめていた。列づめのひとときの時間  
だった。川底は白と黒の入り混じった砂地と深緑色したところを、縞  
模様を描きながらおだやかな流れをしている。心が和む。蓬萊橋を渡  
り右に下ると水辺の楽校に到着。待ちわびた昼食だ。朝は小さなお結  
びを一つ、腹へった……。昼食は特大なお結びを頬張りペットボト  
ルのお茶一呑、満腹。両足の脛が激しく痛む。午後のウォークは無理  
して大事に到らないよう止む無く歩くのを取り止めることにした。こ  
こまで一緒に歩いて来た方々とここで別れ。とぼとぼと帰路に付  
く。定期総会が無事終了いたしますよう祈願！

### 3月の事務所休業日

3日(日) 6日(水) 9日(土) 10日(日)  
13日(水) 20日(水) 24日(日) 27日(水)

### マイラン・マイウォーク

## 富士錦蔵開きウォーク

お酒を飲む方の集合場  
所への車での参加不可

☆日 時 平成25年3月17(日) 雨天決行  
☆集 合 富士宮浅間大社 ふれあい広場 8:30  
【途中参加も可ですが、担当者と連絡をとって合流願います】  
☆コース 浅間大社～富丘公民館～下之坊～富士錦酒造  
☆帰 着 富士錦酒造到着後解散です。  
帰りは①シャトルバス利用(富士宮駅まで) ②自由  
☆申 込 不 要(当日、集合場所へお集まりください)  
☆参加費 不 要(保険未加入・自己責任での歩行をして下さい)  
◎問合せ 宇佐美 (090-7025-9607)  
石川 忠 (090-7854-5431)

### 39ウォーク 第5ステージ

遠藤 茂雄

歩こう会に参加して三回目になります。山梨の自然に囲まれたコー  
スを歩くのはとても気持ちが良いものですね。三回目ともなるとつく  
づくそう思います。今回は、十島駅から富士宮駅の18kmを歩きま  
した。左手に林、右手に富士川と自然を満喫できるコースでした。ア  
ップダウンの坂が多いコースでしたが、私は最年少であったので弱音  
は吐けません。天候にも恵まれ、コンディションもばっちりでした。  
稲子駅を抜けて芝川で昼食。皆さんと食べる昼食は格別です。おかし  
もお姉さま方から頂き、その節は誠にありがとうございました。その  
後、東漸寺を抜けて北松野が見えるところまできました。とても見晴  
らしのいい場所でした。夏にこんな場所でバーベキューなんかできたら  
最高でしょう。その山道も終わり、無事ゴール。とても有意義な一  
日でした。普段、車で移動する私ですのでこういった機会はとても幸  
運に思います。是非、次回も参加させてください。

### 身延線サンキューウォーク

十島駅～富士宮駅

佐野 和彦

浅き春甲斐の国から駿河へと  
道の辺の心とらぐ水仙花  
靴ぬいで風飽をとるや犬吠り  
浅春の沼久保駅に虚子の句碑  
深閑と無人駅舎に小座蒲団  
春雪を頂く富士の大いなる  
浅春の老婆と話す稲子駅

### ◆お詫び◆

◎1月号に掲載いたしました佐野和彦さんの「俳句」中、一句が誤字  
入力し、作者の意図する句になりませんでした。  
◎2月号に掲載いたしました近藤克己さんよりいただきました紀行  
文「私の人生行脚 北海道一周踏破 その8」の文中、不適切な入力  
により文脈が繋がらない箇所が何カ所か発生してしまいました。  
お二人には大変ご迷惑をおかけいたしました。お詫びいたしますと  
共に、以後細心の注意を払い編集に携わっていきたいと思います。

広報部